

ウラジオストク滞在に関する報告について（12月分）

1. 12月の実施事項及び行事等について

- 12日 将棋クラブ
- 13日 ウラジオストク日本人会冬行事
- 19日 極東連邦大学ロシア語学校クリスマス会
- 22日 一時帰国（～1月12日）

2. ロシア語学校について

ロシア語学校の授業は、これまでの「文法」「会話」「ビデオ」「読解」に新しく「発音」が加わったため、今月からは5科目で構成された時間割となっています。時間割の構成自体は学生の要望を聞きつつ、先生が考えてアレンジしてくれています。現在、私のクラスはアメリカ人2人、韓国人4人、日本人2人、中国人2人の計10人となっています。

また、引き続き個人授業を受講しており、週3回「文法」「読解」「手紙」「聞き取り」などの科目を重点的に学習しています。

3. ウラジオストクの状況について

・天候

ウラジオストクの12月は本格的な冬に入ったことにより、寒い日が続きました。例年よりは暖かいと言われてはいますが、基本的に気温は氷点下となり、寒さが厳しい日になると氷点下15℃を下回ります。また、ウラジオストクは海が近いので風が強く、体感温度はさらに低く感じられます。雪はあまり降らず積もることもありませんでしたが、氷点下が続くため常に道が凍っていて滑りやすくなっていました。ただ、ロシアはセントラルヒーティングで建物内をずっと暖めているので、屋内は過ごしやすく、薄着でも十分に生活できます。

・街の様子

12月に入り、外で開かれている市場などは閉じられました。そして、街は日本同様にクリスマスのイルミネーションで装飾され、夜間はとてもきれいな街並みとなっています。

また、広場などの主要施設やデパートなど街の至る所に大きなモミの木が設置され、街全体がクリスマスや新年を迎える準備が進んでいます。

4. 将棋クラブ

12月12日（土）にウラジオストク日本センターにおいて、在ウラジオストク日本国総領事館が主催する将棋クラブが開かれました。ロシアでも将棋や囲碁

に関して興味を持つ人がおり、囲碁や将棋を通して日本に親しみを持つ人も多いようです。実際に参加したロシア人の中には初心者の人もいれば、すでにルールを知っている人もいるなど様々でしたが、ロシアではチェスが大変人気のボードゲームであることからか、駒の動き方が似ている将棋のルールにもすぐに慣れてしまい、手強い指し方をしてくる参加者もいました。

今回は将棋クラブの第一回目として開催しており、機会があれば定期的に行っていきたいとのことです。今後将棋などがより普及定着していくと、日本に関してより興味を持ってくれる人が増えると思うので期待したいと思います。



(写真①：将棋クラブの様子)

5. ウラジオストク日本人会の冬の行事

ウラジオストク日本人会の冬の行事として、12月13日（日）に忘年会が行われました。今年は第一部としてボーリング大会、第二部としてグルジア料理レストランで食事会が開かれました。現在、ウラジオストクには約120人の日本人が在留しており、総領事館職員や企業勤めの方々、さらにはウラジオストク市内の大学に留学している学生達などが滞在しています。そういった幅広い年代の在留邦人が集まり、ボーリングや会食を通して交流を深めました。戦前には6,000人を超えたこともあると言われるウラジオストク在留邦人ですが、現在は100人を少し超える程度の人数です。今回の行事に参加したのは50人程度ではありましたが、様々な人と話すことができ、有意義な行事となりました。



(写真②：ボーリング大会の会場)

6. 極東連邦大学ロシア語学校クリスマス会

12月19日(土)に極東連邦大学のロシア語学校において、クリスマス会が行われました。この日のクリスマス会は主に留学生が対象となっており、極東連邦大学にロシア語を学びに来ている様々な国の人達と交流することができました。

極東連邦大学に留学している学生の国別割合としては、中国、韓国、ベトナム、フィリピン、日本などのアジア圏からの留学生が多くいますが、遠方ではザンビア、コートジボワールなどのアフリカ圏からの留学生も勉強しています。また、今年は原子力発電に関して学ぶため、ベトナムから50人の留学生が同時期に留学してくるなど、ロシアに居ながらにして、多くの国の人達と関わることのできる環境となっています。

クリスマス会では、いろんな遊びや踊りを通して多くの人と交流しました。伝統衣装を着た司会者が音楽に合わせて様々な手遊びなどを促していき、気付いたらダンスになっていたりと、大きな輪になっていたりと、とても楽しめました。そして、催し物の中盤にはサンタクロースが登場しました。ただ、ロシアの場合はロシア風サンタクロースと考えた方が良く、「ジェド・マロース」と呼ばれ孫娘の「スネグーラチカ」と共にやって来ます。今回は衣装も青く、プレゼントは無償で配るというよりも、ジェド・マロースが喜ぶ物を渡すと貰えるという物々交換の設定でした。国が変わればサンタクロースも少し変わってく

るといふのはとても興味深く、楽しむことができました。



(写真③：クリスマス会の様子1)



(写真④：クリスマス会の様子2)